

STAX electrostatic ear speaker

New SR-3



SR-X MARK 2



★音の再生、というよりは、コンサート・ホールを再現する、スタジオのイヤ・スピーカー

イヤ・スピーカーNew SR-3およびSR-X/MK.2は、人間の鼓膜にくらべその厚さ1/100以下という極薄のフィルムを、静電気力で、正しく歪を伴うことなく振動させるコンデンサー型ヘッドフォン。大きい剛性と広い放射面積を必要とするダイナミック型スピーカーの振動板とは根本的に振動様式が異り、全音域にわたり、過渡歪、位相歪、変調歪の悪影響がなく、ロー・レベルの直線性が抜群、その上、直接、音を耳に送り込むので、リスニング・ルームに不可避の歪（残響および極端なピークとディップ）がありません。

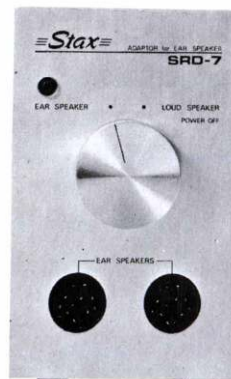
その高忠実度はHearing is Believing（百見一聞に如かず）の文字どおり、ひとたび聴けば必ず人を魅了してしまいます。

New SR-3、これは既に音楽愛好家をはじめ、放送局、レコード会社など、プロ用としても確固たる名声を獲得しています。これを、さらに徹底的に改良した高級型がSR-X/MK.2、その差は、振動膜が6 μ 厚から2.0 μ 厚に、固定極の精度が高いものになり、耳当パッドがエンクロジュア型からプレッシュア型に改良されたことにより、情報量が多くなり、分解能が良くなり、その臨場感はきわめて自然で、今まで聴くことのできなかった《音のマイクロコスモス》を再現するものです。

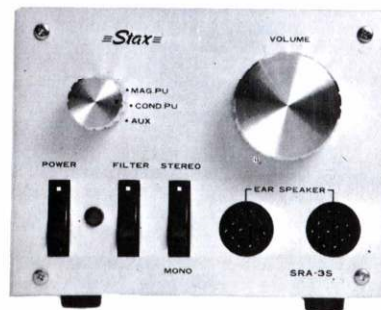
SRD-6



SRD-7



SRA-3S



★イヤ・スピーカーの使い方
①

イヤ・スピーカーを一般のステレオ・アンプにつなぐ時必要になるのが、アダプターSRD-6又はSRD-7、いづれも、イヤ・スピーカーに必要な信号電圧を取り出すマッチング・トランス（左右1対）と、そのプッシュ・プル電極にバイアス電圧を供給する電源部からできています。ふつうの用途にはSRD-6で充分ですが、特にSR-X/MK.2のような高忠実度イヤ・スピーカーには、高性能トランスを使ったSRD-7が適しています。アダプターは非常に低歪に設計されているので、アンプ（メイン・アンプ）の質が良いほど忠実度の高い再生が可能となります。

★イヤ・スピーカーの使い方
②

イヤ・スピーカーに必要な信号電圧を、トランスの仲介なしに直接取出すOTL方式の専用アンプ、それがSRA-3S。トランジスターと真空管を混合して、分解能と音楽性をたくみに両立させたアンプ、これでイヤ・スピーカーを聴くと、その透明感、自然感是他に類のないものと言えるでしょう。（SRA-3Sを使うときはアダプターは不要）。

SRE-15



SRE-B3



★イージー・リスニングのためにアンプから離れて、アーム・チェアやソファにゆったり身を沈めて音楽に浸るそのとき、延長コードSRE-15はホントウに便利なものです。ふたり揃って聴くときは、増設用コンセントSRE-B3をSRE-15と併用してください。

SRC



★アンプ自作派のためにイヤ・スピーカー用の6極コンセントです。（アンプ回路図は当社にお申込みください）。